

令和2年5月22日

第7回

会 議 録

桑折町教育委員会

桑折町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和2年5月22日（金）
- 2 招集場所 桑折町立醸芳中学校校長室
- 3 出席委員 1番委員 柴田宣広 2番委員 鈴木キヨ子
3番委員 小野紀章 4番委員 長谷富子
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席者 教育長 会田智康
こども教育課長 長谷部清治
生涯学習課長 大内健矢
- 6 書記 総務係長 服部亜由美
- 7 開 会 午後1時33分

8 教育長挨拶

本日は会場を変更し、醸芳中学校での開催とさせていただいた。委員の皆さまにはご多忙中お集まりいただき、また、醸芳中学校には会場提供・授業参観の段取り等準備いただき、感謝申し上げます。今回報告事項の「新型コロナウイルス感染症対策の状況」では、現場をご覧いただくのが最も中身のある報告になると考え、醸芳中学校での視察を組入れた。

さて、一昨日5月20日から、町内幼稚園・小中学校が再開した。これは、県知事の要請に先駆け、「町内での感染者が発生していない」こと、「子どもたちの生活・学習面において課題があることから、一日でも早く学校再開すべきである」との判断から町独自に再開したものである。従って、独自再開したからには「子どもたちの学びと成長をしっかりと保障する」ということと、感染症対策を徹底して「町内の学校で感染拡大することが絶対に無いように」取組んでいかなければならない。再開後の各小学校の様子を、昨日までに指導主事と共に参観した。欠席者はほとんど無く、子どもたちは元気に、喜んで、登校しており、安堵したところ。ただ、午後になると疲れが見られ、体力の低下が感じられる、という現場からの報告もあった。

各小学校における感染症防止対策は、ずいぶん浸透してきたと感じる。しかし、未だ県知事の要請に従い、正式再開を行っていない学校もある。対策が浸透してきたとは言え、それでもなお、「まだやるべきことはない

か？」考え、緊張感を持った取組みを続けていかなければならない。今日は委員の皆さんに現場をご覧いただいた上で、意見、質問などをいただきたい。

9 報 告

(1) 教育行政報告について

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の状況について

① 事務局

② 醸芳中学校

(1) 及び (2) ①をこども教育課長・生涯学習課長、(2) ②を醸芳中学校長・教頭より説明

10 協 議

「今後の小・中学校授業日の確保方策について（案）」

こども教育課長から案の内容について説明

教育長

授業日を確保するため、夏休みはお盆の週だけ、というような学校も全国的に出てきている中、文科省は、授業日をそろえるだけが全てではない、より良い環境の中で授業を実施できることも必要、最終学年以外は次の学年への持ち越しも不可能でない、という見解を示すなど、授業日確保の仕方についてはいろいろな考え方がある。桑折町では全ての学年において、今年度の分はしっかり今年度のうちに実施したいため、夏休み期間で、休校日数17日の3分の2程度を取戻すという方針のもとに進めたいと考えている。1学期を7月31日までにしても、7日しか取り戻せないため、夏休み最後の一週も授業日にする事として案をまとめた。伊達市・国見町とも可能な限り期間をそろえる方向で検討し、1学期終了日は合わせられる見込みだが、夏休み終了の時期はそれぞれの事情でそろわない状況であるがそれはやむを得ない。夏休み期間中の工事や機器換えなどの予定を先送りにしても、学びの保障を最優先という考えのもとで設定した。中学校では特別教室などでエアコンがないが、普通教室で実施できるよう授業内容を工夫するなどして、学習を取戻すよう努める。事務局案に対して、意見、質問等があれば発言いただきたい。

小野委員

夏休みが短くなることについて不安の声など聞こえているが、個人的には8月1日～8月16日という事務局案が、長過ぎず短過ぎず無難と考える。なお、保護者としてはなるべく学校行事、特に熱の入る醸中祭はやらせてあげたい

という思いがあることから、2学期以降は土曜日を活用して、授業日数を可能な限り確保してほしい。

教育長

小野委員のとおり、状況が安定していれば2学期は行事も土曜日の活動もしっかり行っていきたい。そのために夏休みを短縮することで頑張っている程度の日数を、残りは通常の活動の中で取戻す、ということを行っていきたい。

柴田委員

期間については現状では妥当。しかし、第2派・第3派で休業となったときには、その後タイトなスケジュールになってしまうこと、またここ数年集中豪雨などでの臨時休校が増えていることを考慮すると、さらに厳しい事態となることが心配。土曜授業を増やすことについては、土曜日における様々な学校外での学習活動がすでに確立されている中であって、それを潰してでも実施するには強い理由が必要になることから、難しいと考える。ゆえに平日での授業のやりくりを考えていく必要があると考える。重要事項を先送りし、学校行事を2学期に詰め込むことで授業時数が確保できなくなるというジレンマに陥ることのないような方策が必要。例えば、練習時間の確保が必要な水泳大会や陸上競技大会についてどうするか、検討をお願いしたい。

教育長

案として完成していないが、小学校水泳大会については①感染リスクがあること②健診（内科検診・心電図検査）を実施できていないため水泳指導に入れないこと、という理由で中止とせざるを得ない方向で検討していたので、ご理解いただきたい。水泳学習については、健診の実施時期により機会を確保できれば少しでも実施したい。社会体育行事に移行した陸上大会についても、当初の予定では各校で6月に陸上の出前教室を行い、大会を見据えた練習を重ねることにより、子どもたちの自主的な参加に結びつけるという、学校教育と連動した大会の実施を予定していたがこれも不可能となったため、中止せざるを得ない。話の流れでこの場でお諮りする形になったが、こちらもご理解いただきたい。土曜日については地域活動を優先したいため、もし本案の夏休み短縮で足りなくなった場合は、冬休みの短縮で対応するしかないと考えている。

鈴木委員

この案で進められるのが望ましいと考える。子どもたちの醸中祭、運動会、学習発表会に対する思いは強くあると思うので、これら行事の練習を、土曜授業に充てることで、授業もしっかり確保して行事もできるという形で進めていただければと要望する。

教育長 実現できるよう進めていきたい。
長谷委員 この案でよろしいと思う。3年生にとって修学旅行と醸中祭は思い出の2大行事。旅行は「どこに行ったか」よりも「誰と行ったか」が大切と考える。近場でもいいから、実現してあげてほしい。

教育長 実現のため全力を尽くしたい。本案件については教育委員会で決定する事項のため、本来であれば今定例会に議案として提出し議決いただくべきところであったが、開催直前まで調整をしていたこともあり整えることができなかったもの。よって、今回の協議で賛同いただいたことをもって、教育委員会としては事務局案で意思決定とし進めさせていただくことでご了承願いたい。なお、現在はまだ県知事の休校要請中であることから、正式発表は、県の休校要請解除後の6月初旬に、対策本部会議の決定を受けた後に行うこととする。

(会場の使用時間いっぱいのためここで協議終了。当初予定の教育振興基本計画についての意見交換は次回定例会に持ち越しとした。)

11 その他

(1) 次回教育委員会開催について

- ・当初予定：6月26日(金) 13:30～ 第1会議室
→変更：6月25日(木) 13:30～ 第1会議室

(2) 今後の日程について

(3) その他

- ①県連協議会伊達支会定期総会書面開催に係る書面表決書の提出依頼
- ②令和元年度「桑折町教育委員会の事務の管理及び執行状況」の教育委員評価実施依頼

12 閉会 午後3時07分